

福井市で「電波の安全性に関する説明会」を開催



一般の方や医療関係者等64名が参加した説明会

総務省北陸総合通信局（星克明局長）は、福井市、一般社団法人福井県医師会、一般社団法人福井市医師会、北陸情報通信協議会の後援により、平成27年11月24日（火）、福井市内の福井県自治会館において電波の安全性の理解を深めるため「電波の安全性に関する説明会」を開催し、一般の方、医療関係者等64名の参加がありました。

説明会では最初に、総務省総合通信基盤局電波環境課の杉野勲課長から「電波の安全性に関する総務省の取組」と題し、電波が健康や医療機器に与える影響、電波の安全基準や研究動向など、総務省における電波の安全性に関する取組を説明しました。



総務省総合通信基盤局
電波環境課 杉野 勲 課長

続いて、佐賀大学大学院工学系研究科知能情報システム学専攻の花田英輔教授から「医療現場での無線通信と電磁環境 ～安全安心な活用のために～」と題し、病院内における無線通信の活用状況や病院内で無線通信技術を安全に活用するための医療機器を取り巻く電磁環境等について説明がありました。また、平成26年8月に改訂された「医療機関内における携帯電話等の使用に関する指針」の策定に関わられたことから、改訂に至る背景や改訂内容等について併せて説明がありました。

最後に、一般社団法人電気安全環境研究所電磁界情報センターの大久保千代次所長から「電波の健康リスクーWHOからのメッセージ」と題し、医学的な観点から電波が人体に及ぼす健康への影響について、WHOのこれまでの取組や公式見解、現在進められている総合的な健康リスク評価の取組等についての説明がありました。この中で、WHOからは「近年実施した科学論文の詳細なレビューに基づき、現在の証拠からは低レベル電磁界ばく露により健康への影響があることは確認出来ないと結論しました。」とクリアな公式見解が発表されているが、日本を始め全世界に本メッセージが届いていないのが問題と指摘しました。

北陸総合通信局では、平成28年2月に、富山市内で今年度2回目の説明会を開催する予定としています。



（一社）電気安全環境研究所
電磁界情報センター
大久保 千代次 所長



佐賀大学大学院工学系研究科
知能情報システム学専攻
花田 英輔 教授

お問い合わせ先
無線通信部監視調査課
076-233-4441